

2022年6月15日(水)

奈良新聞掲載記事

双子などの子育て支援「多胎児サークル」

特有の悩み、情報を共有



双子の育児について意見を交わす参加者ら＝14日、田原本町宮古

双子や三つ子などの「多胎児」を育てる親たちの支

援に取り組む香芝市の「Mommy's Place」は14日、「多胎サークル」を田原本町宮古の町保健センターすこやかひろばで初開催した。双子を育てる母親らが多胎育児の経験者と語り合い、特有の悩みや情報を共有した。

「Mommy's Place」は、産前産後の母親の生活をサポートする民間資格「産後ドゥーラ」として活動する、栄養士で看護師のえがわのりこさん(46)が、2021年4月に設立。今春、多胎家庭の支援を目的とした「多胎ネット」の取り組みも始めた。

「多胎サークル」は、同じ境遇の人に出会いにくい多胎育児の親同士が相談や話し合いを通じて共感できる場所。今後、月1回開き、母親や家族、多胎育児経験者で支援者としての研修を受けた「アサポーター」らの交流につなげる。

「買い物はどうされていますか?」参加者の質問に、小学2年生の双子男児(次男、三男)を育てている「アサポーター」の桶谷由里さん(38)は「ベビーカー2台だと狭くて入れない場所が多くて。1人は背負って、もう1人はベビーカーを押して歩いてスパーまで行っていました。多胎育児ならではの妊娠期や産後の困りごと、子どもが成長する喜びなどをきつくはらんに語り合った。

この日は、講師にインストラクターを招き、バランスボールの上で弾んだり、骨盤や肩を動かすエクササイズもあった。1歳11カ月

の双子男児の母親(34)＝田原本町は「日常の中にある『物理的にどうすれば』という場面での話が聞けて参考になりました」と話した。